

4月28日の授業参観・教育講演会・学級懇談会・PTA総会に多数ご参加いただき、ありがとうございました。当日は、東京大学大学院の市川伸一教授をお招きし、3年生の算数の授業と、4・5・6年生と保護者の方々対象の教育講演をしていただきました。参加した児童、保護者の方の感想をご紹介します。

あいさつする子  
しっかり学ぶ子  
たのしく遊ぶ子

## 教育講演の概要です

私は、市川先生の話聞いて、ただ覚えるだけじゃなくて、一工夫すれば簡単に絵や図、数字、言葉などを覚えて、そうすれば、むずかしいのもできるかなあと、わくわくしてきました。

私のお母さんも、市川先生の話聞いていて、宿題などでわからないところがあると、「工夫しいや。」と言います。お母さんは、市川先生の話聞いたその日から、前よりずっと「工夫」の言葉がよく出てくるようになりました。先生の話は、わかりやすくてためになりました。

やっぱり自分でできまりを考えて覚えると覚えやすいものだと思います。でも、そのできまりを考えるのは、とてもむずかしいことだと、よくわかりました。経験も大事なんだなと思いました。勉強も工夫して覚えるということになりました。

なぜ、人間は7けたぐらいの数字を覚えられないんだろうと思いました。どんな問題でも、簡単な方法で考えたらいいことに気づきました。勉強は、いろんな工夫をしたらいいということを知りました。

問題などを工夫したら、すぐわかる！ということがわかりました。とくに、数字を覚えるのをできまりがわかるといいというのは、はじめて知りました。図形を覚えたりするのも、すごく工夫をするということわかりました。そのことをわかっていないとき、解き方を言われてびっくりしたけど、すごくいい勉強になりました。

人間が学ぶときのしくみや、どんな学習方法がよいのかについて、「記憶の範囲の実験」などを通して、子ども達にもわかるように話していただきました。



漢字や計算をひたすら練習することも大事だけれど、高学年になると理解を重視した勉強法が重要になることを教えていただきました。



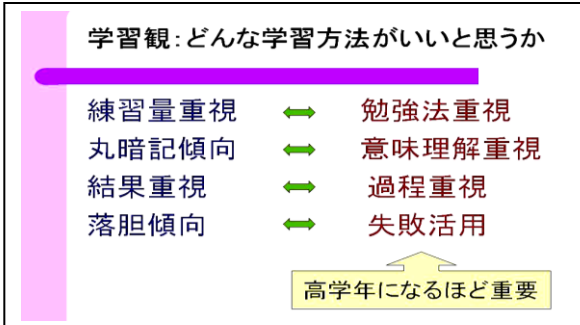
ぼくは、いつも、分からない問題は、お母さんに聞いて分かったら終わりにしていました。お母さんに聞いてするのもいいことだけど、最後、終わったら分からなかった問題をもう一度やりなおしをしなければならないと思いました。

知識というものが、はじめて必要だと思いました。絵や文、数字にも意味があり、知識をつかったらとてもわかりやすくてよかったので、これからがんばりたいと思います。

問題で、数字をがんばって覚えようとしたんですが、覚えられませんでした。覚え方を聞き、「こうすればできるのだなあ」とよくわかり、勉強になりました。

## 市川伸一教授の教育講演会

「確かな学力」のための授業と家庭学習  
ー理解を大切に勉強法ー



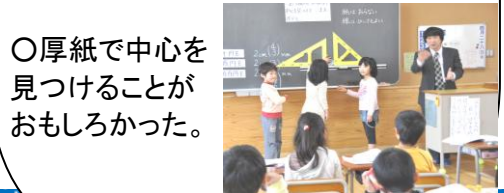
また、市川先生が提唱されている「教えて考えさせる授業」の模範授業を、3年生の算数(まるい形を調べよう)で実施してくださいました。まず、教科書に載っている「円の直径」について丁寧に学習しました。そのあと、3人グループで硬貨の直径をはかる活動や、厚紙の円の中心を、紙を折らずに求める方法を考えました。

学習内容を知っている子も知らない子も参加でき「受けてよかった」と思える授業、協同学習による参加意識とコミュニケーションの促進のある授業を目指して、教職員も研究を深めていきたいと考えています。

- 直径は、中心を通ることが大切。
- 直径は、一番長いことが大切。
- 中心を通らないと直径にならないことが大切。
- 円の中心を、おらずに調べるのが楽しかった。
- お金をはかるのがおもしろかった。
- お金をノギスではかったら早い。
- 三角定規をうまく使わないと、おれない円の直径ははかれない。



○やってうれしかった。またやりたい。



○厚紙で中心を見つけることがおもしろかった。

参加された保護者の方に感想を書けていただきました。

### 市川ワールドに引き込まれて

先日の市川教授のお話は、とても興味深いものでした。「今から言う数字を暗記してください。」という言葉から始まり、子ども達も親もあつという間に市川ワールドに引き込まれていきました。

丸暗記することは、人間の脳にとって限界があり、意味を理解し、関連づけて暗記することが大切であるということを知りました。自分の学生時代を振り返ってみても、テストの前にかく丸暗記したことは、テストが終わればすぐに忘れてしまい、意味を理解し暗記したことは、しっかり脳の記憶部屋に残っています。

子どもが、中高生になったとき、自分で工夫できるように今から意味を理解して暗記する勉強法を身につけさせていくことが大切だと思います。家庭と学校が協力して、『自分の持っている知識を最大限使って工夫する』ということ、子ども達に根気よく教えていこうようにしたいものです。

### 学習量や結果の良し悪しだけではない

先日の市川先生による教育講演会に出席いたしました。お話を聞いて、自分自身の子ども時代を思い返し、また、我が子の学習のやり方、向き合い方など多くのことを考えさせられました。

「理解して次のステップに進む」これは、物事すべてに共通する、本当に大切なことだと思います。子どもに対して、学習量や結果の良し悪しだけを押しつけていなかったかと、反省しています。この日は、子ども達だけでなく、私達保護者も有意義に一日を過ごせました。

前回の能楽に続き、子ども達に机上の学習以外に多くの学べるチャンスを与えていただき、ありがとうございます。このようにして、子どもが学んだものを、家庭に持ち帰った時、そのことをもう一回りふくらませてあげられる親になりたいとも感じました。